

ISO39001道路交通安全マネジメントシステム審査認証

道路交通安全マネジメントシステムとは

道路交通安全マネジメントシステム(RTSMS)は、道路交通事故の発生率、死亡や重傷を負うリスクを減らし、最終的には、根絶することを目的として、2012年にISO規格として発行された、マネジメントシステムです。

RTSMS 導入のメリット

道路交通安全マネジメントシステムを導入することにより、以下の効果が期待できます。

● 企業のイメージアップ

ISO39001 認証取得組織として組織のブランド価値が高まり、“道路交通安全に向けて正しく経営されている組織”と社会から高く評価されます。

● コストの削減

道路交通事故予防の付加的結果として、マネジメントシステム運用に係わる費用以上のコスト削減や売り上げの確保が可能となると考えられます。

- ・ 保険料の低減
- ・ 補償・治療費用の発生防止
- ・ 利益を得る機会の損失防止

● 持続可能ビジネスへの貢献

道路交通安全は社会的要請であり、重大な道路交通事故を発生させた場合には、組織の存続にかかわる場合があります。マネジメントシステムの活用により、道路交通安全を継続的に改善し、社会的要請に応えることによって、組織のビジネスは持続可能なものとなります。

● 責任共有による死亡・重傷事故減少の促進

道路交通には、多くの組織やその要員がさまざまな形で関与しています。多くの組織や要員は、この共通したマネジメントシステムを利用して、お互いに道路交通安全への責任を共有することが大切です。みんなが責任を共有すれば、重大交通事故による死亡・重傷事故の減少が可能となります。

当社の審査の特徴

1. 規格の適合性に軸足をおく厳正・適確な審査
社会環境の変化に伴い、製品・サービス・プロセス等は常に変化します。長年認証を継続している組織でも、これらの変化への対応について、その適合性を審査することが必要です。
2. 組織の特性を考慮し有効性を重視する審査
審査の結果は、単に適合の確認だけにとどまるのではなく、組織が ISO 規格に何を求めているかを尊重し、業界特性や組織文化、事業規模やシステムの成熟度など、組織の特性と個性に応じた審査をします。
3. 組織の運用実態を十分把握した審査
現場審査を重視し、トップの方針が管理部門から現場まで一貫性を持って浸透しているかを検証し、組織の方々のモチベーションを意識した審査をします。
4. コミュニケーションを重視した対話型審査
現場審査はもとより、審査の準備段階から結果報告まで、組織とのコミュニケーションにより、十分に納得いただける対話型審査を行います。こうした対話が“気づき”につながると考えています。
5. ステークホルダーの視点に立った審査
ステークホルダーの視点に立ち、「誰のため」「何のため」に役立つシステムであるべきかを常に考えた審査を目指します。

- ※ ISO
国際標準化機構 (International Organization for Standardization) 国際的にさまざまな分野の規格の作成を行い、国際取引の円滑化等を図っている組織
- ※ 当面は、当社の独自認証となりますので、認定機関のマークは使用できません。